



# 普連土学園校友会報

第 **108** 号

令和5年(2023年)2月15日

発行：普連土学園校友会  
住所：〒108-0073 東京都港区三田 4-14-16  
E-mail：friends@f-koyukai.com

責任者：松浦 栄子  
TEL：03-3451-7700  
FAX：03-3451-1959



2022年、創立135年を迎えた普連土学園。その節目に創立記念礼拝でお話をする光栄な機会をいただきました。これを機に改めて歴史を振り返ってみると、普連土学園があらゆる風雪を生き抜き、脈々と紡いできた伝統と発展を再認識し、深い感慨を覚えました。私は、スイス大使館の観光部門、スイス政府観光局で仕事をしています。幼い頃からスキーが大好きだった私は、高校卒業後スイスへ移住し、スキーガイドの仕事をするという夢を叶えました。それが縁でスイス政府観光局に就職し、

創立135周年記念礼拝  
「普連土学園の教育理念と私」  
96回生 押尾雅代

目次  
クリスマス礼拝  
校友会バザー  
忘れられない思い出  
修学旅行  
校友生の礼拝  
学園祭記

今では人生の半分以上、スイスと関わっています。「ひとりひとりがうちなる光を宿している」という教育理念の元、私は自分の個性を信じ、また国際的な校風の中で、多様性を持つ社会で活躍する国際人になることを目指し、今のキャリアを築くことができました。

普連土  
学園の教  
育基盤、  
クエーカ  
ーの精神  
性である  
誠実、信  
頼、質素、  
簡素、平  
和や平等  
などは、普遍的な価値を持つっており、私は心の深淵で共感しています。そして客観的になると、この



スイス観光局のイベントで司会を務める



学園祭でウエストサイドストーリーを演じた(一番右が押尾さん)

精神により学んだことが、多くの場合自分の行動基準になっており、常に損得よりも「誰を助けられるか」「社会に貢献できるか」「中庸であるか」を基準に物事を判断していると感じました。

この度の礼拝には、「わたしはぶどうの木、あなた方はその枝である。」(ヨハネによる福音書第15章5節)の聖句を選びました。それは私達が普連土学園という幹に育まれた枝葉のようであるからです。普連土学園のシンボルカラーである常緑「エバーグリーン」のように、時代を経ても色褪せず豊かな実を結びながら、学園とすべての普連土生の未来にさらなる発展の歴史が刻まれていくことを願っております。

コロナ禍により2年中止されていた校友会クリスマス礼拝が3年ぶりに開かれました。約70名の校友生がA音楽室に集い静かな沈黙の礼拝に臨みました。

校友会クリスマス礼拝  
2022年12月3日(土)  
「クリスタルボウルによる沈黙の礼拝」  
ルカによる福音書2章8節から14節  
萩原 薫(93回生)

礼拝は81回生酒井恵生さんの「二輪のバラ咲きて(ブラムス)」の演奏に続いて、讃美歌と聖書朗読の後、萩原さんのクリスタルボウルの演奏が始ま



りました。萩原さんはヴィオラ奏者として活躍しながらクリスタルボウルを使ったセラピストとしての活動もしています。クリスタルボウルとは、シリカという水晶の粉99.9%で作られている楽器で、その演奏はリラクゼーション効果があり、クリスマス礼拝での20分ほどの演奏中は不思議な瞑想状態に引き入れられるような何とも心地よい音色の世界が広がりました。



最後に再び酒井さんによる「フランスのクリスマスキャロル」の演奏があり、礼拝は終わりました。コロナ禍以前は皆でハレルヤを歌っていましたが今年はありませんでした。また、以前は礼拝後に親睦会が開かれていましたが、感染対策により残念ながらこれも中止されました。



当日のプログラム

\*\*\* 聖句 \*\*\*  
ルカによる福音書  
2章8節から14節

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。10 天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。11 今日タビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。12 あなたがたは、布にくるまって飼いの葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」13 すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。  
14 いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心にかなう人にあれ。」



礼拝後、生徒ホールにて手作品やガレット販売のミニバザーが開催されました。

# 校友会バザー

2022年11月12日



売り切れ必死の食品コーナー。  
美しく陳列しようと準備に余念がない

穏やかに晴れた11月12日に、校友会主催で、コロナ禍により2年間中止せざるを得なかったバザーを開催することが出来ました。  
後援会と共催ではなく、会場も講堂のホワイエと狭く、来場者数も想像がつかず、こういった形で行うのが一番良いのか役員会で話し合いを重ねました。コロナ感染者が増えれば中止の可能性もあり、



手芸品が多く並ぶコーナー。  
所狭しと魅力的な商品が並ぶ

豆大福とふれんどら（どら焼き）はギリギリまで注文数が確定しませんでした。  
前日、当日のお手伝い、出展者、来場者などを合わせると、1000人近い方々が参加してくださいました。ご参加いただいた皆様に心より御礼を申し上げます。  
校友会史によると『昭和44年11月 第1回校友会バザー開催』とあります。それ以前にも行われていたようで、『昭和22年には少しばかりの手芸品や食品（魚・サツカリン）を並べてバザーの真似事を始めており』以降、母校の復興のために行われていた、とありま



バザーといえば、「ふれんどら」と「豆大福」。どちらも大人気



校友生同士、売り子とお客様で会話が弾む  
楽しい買い物

した。校舎の建て替えなどで開催が危ぶまれた年もあったようです。いつの時代にもあった、働くことを通して得られる校友生の縦横の交わり、心をひとつに出来る喜びを絶やしてはいけないと思います。  
校友会バザー委員長  
82回生 寺山由美子

### 2022年度ミニバザー収益

2022年12月20日  
単位：円

摘要	売上	仕入	収益
手 芸	209,340	0	209,340
アクセサリ	14,300	0	14,300
献 品	8,800	0	8,800
委 託	238,540	152,900	85,640
計	470,980	152,900	318,080



和気藹々とした様子に、カメラを向けると  
快くポーズをとってくれました



集合写真  
した。映画の中みたいでした」

14 令和4年(2022)  
関西修学旅行  
(129回生有志のみ)

卒業式翌日から2泊3日、参加者は50人程。全員が参加した修学旅行ではなかったが、楽しい卒業旅行だった。



下鴨神社  
「美人祈願の絵馬を描きました」



龍安寺



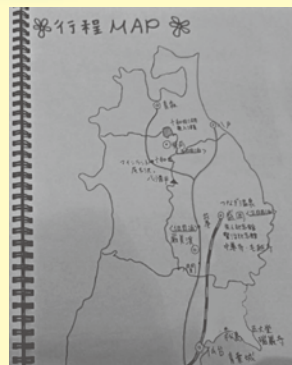
料理

# 忘れられない思い出 修学旅行

“明治時代の良家の子女は、一人で外出するのは稀なことであったといわれる。本学の寄宿生も自由に外出されることは許されず、三田通りに入る時は前後に護衛がついたと記されている。”「普連士学園百年史」より

12 昭和59年(1984)～  
中学 東北修学旅行

「東北の毛越寺など大人になってもなかなか行かれないところへ行けてよかった」  
「お土産は南部せんべい。4日間とても楽しくて、後10日位いたい気持ちだった」



東北旅行地図

11 昭和55年(1980)～昭和58年(1983)  
中学 広島・岡山修学旅行



原爆の子の像



奥入瀬



乙女の像

「水は冷たくて透明できれいだった」

「乙女だからもっと細いのかと思っていたからちょっとうれしかった」

広島のスケジュール

- ・ 広島流川協会
- ・ 原爆養護老人ホーム
- ・ 放射線影響研究所
- ・ 韓国人被爆者慰霊碑
- ・ 在日韓国人被爆者訪問

中学修学旅行  
広島・岡山表紙イラスト



新渡戸稲造記念館

## 普連士学園 修学旅行の歴史

### 修学旅行の歴史

- ・ 明治41年(1908) 玉川方面へ全校で郊外遠足。
- ・ 大正4年(1915) 修学旅行始まる。箱根に1泊。
- ・ 大正10年頃(1921) 筑波山登山。
- ・ 大正15年(1926) 日光に1泊。
- ・ 昭和2年(1927) 箱根に1泊。
- ・ 昭和7年(1932) 関西修学旅行始まる。
- ・ 昭和17年(1942) 戦時下のため修学旅行ではなく錬成旅行と呼び名が変わる。東北に4泊5日。
- ・ 昭和18年(1943) 錬成旅行東北に4泊5日。
- ・ 昭和19・20年(1944～1945) は錬成旅行も遠足も中止となる。
- ・ 昭和20年(1945) 5月 空襲による類焼で全校舎焼失。
- ・ 同年9月末から三田台町ボールス氏宅(現フレンズセンター)と高輪教会で授業再開。
- ・ 昭和21年6月から芝浦旧東京高等専門学校で授業が始まる。
- ・ 昭和24年(1949) 全校聖坂校舎にて授業再開。
- ・ 昭和21年(1946) 三浦半島田浦へ1泊の遠足。
- ・ 昭和22年(1947) 全校で真鶴へ。



奈良・若草山

### 5 昭和7年(1932) 関西修学旅行

関西修学旅行が始まった。帰りは京都から夜行列車で長い時間かけて帰京。「若草山で転がりおちたのも楽しい思い出」



筑波山登山

### 3 大正10年頃(1921) 遠足 筑波山登山

袴姿で歩いて登った。

### 2 大正4年(1915) 箱根1泊

修学旅行の始まり。

### 1 明治41年(1908) 玉川方面

全教員・生徒が郊外遠足を試みる。最初の遠足？

日光遠足



### 4 大正15年(1926) 日光

日光1泊。馬返しから中禅寺湖まで、徒歩。

### 7 昭和17・18年(1942・1943) 東北旅行(錬成旅行)

戦時下のため2組に分かれて秘かに夜上野出発。松島で集合。平泉一鳴子一鶴岡。この日は山本元帥の国葬の日。人目を忍んでの旅行。(昭和18年)

### 9 昭和昭和23年~25年(1948~1950) 日光修学旅行再開

日光に1泊。



日光・竜頭の滝 「関西へ行かれると思っていたので、がっかり」

### 13 高校 関西修学旅行



奈良公園の鹿

「鹿せんべい『持ってないよ』と手を見せても通用せずどこまでも追いかけてきてスカートを食べられました」



薬師寺 「あまりの美しさに感動しま



銀閣



普茶

### 10 昭和26年(1951)~ 関西修学旅行再開

戦後初めての関西修学旅行。「お弁当にイナゴの佃煮が入っていて、皆食べるのが嫌で『飛んでいっちゃった』と言って食べませんでした」

### 6 昭和13年(1938) 関西修学旅行

帰路は神戸港から横浜港まで船旅。「しけになって皆船酔い」

### 8 昭和21年(1946) 三浦半島

三浦半島へ1泊。鷹取山へハイキングも。「城ヶ島へは、橋がなかったので、泳げる人だけ舟で渡った」



鷹取山

比叡山

- ・ 昭和23~25年(1948~1950) 修学旅行再開。日光1泊。
- ・ 昭和26年(1951) 関西修学旅行再開。
- ・ 昭和30年(1955) この年から関西修学旅行は4泊5日となる。(島崎校長の意向)
- ★ 高3の春・秋に関西修学旅行が行われたのは、92回生まで。
- ★ 93回生以降、関西修学旅行は高2夏に旅行時期が変わる。
- ★ 中学修学旅行は90回生まで日光。91~94回生は広島・岡山。95回生からは東北となった。
- ★ 129回生はコロナ禍のため、関西修学旅行が中止。2022年3月卒業直後有志のみで実施した。
- ※ 日本における最初の遠足は、明治19年(1886)に東京師範学校の中小学両師範学校生徒による千葉県下への「長途遠足」である。
- 〈参考資料〉
- ・ 「普連土学園90年の歩み」
- ・ 「普連土学園百年史」
- ・ 「あの日あの時あんなこと1932~1954」(史料室)
- ・ 校友会史
- ・ 「64~100回生卒業アルバム」
- ・ 事務日誌
- ・ 友会の広報紙「愛の友」

校友生による全校礼拝

「婚姻の自由と平等を求めて」

100回生 南川麻由子

私は今、弁護士として同性婚訴訟に取り組んでいます。

世界では既に30ヶ国以上で同性婚が法制化されていますが、日本では未だに戸籍上の性別が同性同士だと結婚ができません。同性カップルは愛するパートナーと法的な配偶者となれない。2人で子育てをしても片方は子の親となれない、病院でパートナーの病状説明を受けられない、相續できないなど、あらゆる生活上の不利益を受ける。これは、重大な人権侵害であり、国による差別です。

そこで2019年、国を相手に「同性婚が認められないのは憲法違反であり違法だ！」と主張する「結婚の自由をすべての人に訴訟」が全国各地で始まりました。ゲイやレズビアン、バイセクシュアル、パンセクシュアル、トランスジェンダーなど、様々なセクシュアリティの原告が、多くのセクシュアルマイノリティのために

立ち上がり、特に若い世代が自分たちのように苦しめない社会を作りたいという想いで裁判を起こしたのです。

全国5カ所の裁判のうち、まず札幌地裁で2021年3月に「同性婚を認めないのは違憲」とする画期的判決が出たのち、2022年6月に大阪地裁で「同性婚を認めなくても合憲」という判決が出てしまいました。そして11月30日には、東京地裁で「同性カップルがパートナーと家族になれない現状は違憲状態」とする判決が出ました。地裁では判断が分かれており、今も各地の裁判は続いています。

この同性婚訴訟のお話を通じて、2つのことをお伝えしたいと思います。1つは、セクシュアリティのありかたは多様であり、それぞれがありのままの自分でいいということ。同性を好きになる人も、性自認が体の性別と一致しないトランスジェンダーやXジェンダー、ノンバイナリーもいる。それが神様の作られたこの世界のまぎれもない真実です。誰もが自分を愛し、お互いを愛し、そのあり

のままが尊重されることが大切ですよ。

2つめは、社会は変えられるということ。同性婚の問題も、訴訟提起前はほとんどニュースにもならなかったのが、今や常時報道され、世論調査では約65%が同性婚を認めるべきと回答し、国政選挙での争点のひとつとなるまでに変わりました。ぜひ、若い世代の皆さんには、社会や政治に関心を持ち、SNS発信や選挙での投票などで意見をしっかりと表明して、社会をよりよい方向に変えていっていただきたいと思っています。

## 八十歳になりました

傘寿を迎えられた67回生の皆様に浦口先生が描かれた絵葉書セットをお送りしました。

♥懐かしい浦口先生の絵葉書をお贈りいただき感激しております。守られてこの年まで元気に過ごすことができ感謝です。

♥山中湖付近の花の絵に、友達と

訪れた時を思い出しております。

♥先生の絵葉書大切にいたします。

♥先生と神谷美恵子さんの往復書簡集を読み、こんな素晴らしい先生にご指導賜りましたこと有難く感謝しております。

♥先生のお姿やお声、生物室、花壇そして制服姿の私達、遠い遠い懐かしい日々が甦りました。

♥先生の影響で、野の花に目が留まります。海外で日本と同じ花に安心したり、オーストラリアの植物だけが日本の物と全く異なっていました。

♥授業も花のことになると大変元舌でいらしたのを思い出します。

♥6年間一緒に学んだ67回生の皆様がお元気でいて欲しいです。

♥今年の夏は殊の外暑さ厳しく体力も大分減退したように思います。80歳の壁でしょうか。

◆お便りを下さった方々(敬称略)

朝穂紘子 大澤三和子  
大塚由紀子 黒沢雅子 高橋雅枝  
柴崎喜代子 高廣偕子 西松圭子  
花村美恵子 浜 芳子 前田恭子  
本江愛子 山口美智子

普連土だより 学校近況

第七十九信

3年ぶりの緊急事態宣言のない4月で始まった今年度。通常の生徒活動が戻ってきたように思えました。5月の高3修養会や中2遠足も3年ぶりに実施。体育祭も中高別で、保護者の方にはリアルタイムでの配信となりましたが東京体育館での実施と、3年ぶりに「通常の生徒活動の行える」4〜5月を迎えることができました。

6月に入り前期中間試験の後、中3と高2の修学旅行も実施されました。高2にとっては、中2遠足以来の宿泊行事でした。あるクラス担任が誕生日を旅行中に迎えました。生徒たちから内緒で準備した歌と、礼拝でのメッセージのサブライズがあったとのことでした。

7月に入り今年度こそはクラブ合宿を実施する予定でしたが、第7波によりやむなく中止とせざるを得ませんでした。

夏休み中や土曜日の活動は、生徒たちのメンタルへの負担に考慮しつつ感染防止対策のため、今年度も昼食なしの1つの活動のみとされています。そのような状況下で

も生徒たちは限られた時間を大切に、クラブ活動や学園祭準備に励んでいました。

10月の学園祭は、事前予約制ではありませんでしたがこれも3年ぶりに一般のお客様を招いての開催ができました。

昼休みの黙食も感染防止対策の一環で3年前から続けています。友人たちとの会話のない昼食についてある日生徒から「どうして(黙食をしないと)ならないの(ですか)」と言われました。言った本人も感染防止のためだと分かっていると思います。それでも言葉にしたのはやるせない思いがあったのだと思います。

全校礼拝は、3学年は講堂で、他3学年は教室への配信によって守っています。

12月になり講堂にはクリスマスツリーが飾られ、中学宗教委員の生徒が飾り付けをしました。クリスマス礼拝では嶋田律之先生のお話を伺います。来年は、平穏な学園生活を送らせられるよう願っています。(松浦良知先生、22年12月記)

松浦良知先生の

学園祭記

2022年10月22日(土)

今年度の学園祭は、3年ぶりに一般のお客様を招いての開催となりました。

前日の準備は5限後から始まりました。E.S.S部の催物のリハ、写真を撮りに行った私に注意を払ったのは最初だけで、最終確認に集中していました。教室に向かうと、吹奏楽部がそろいの「傘」のアクセサリー作成の仕上げ中。カメラを向けると、「(本校公式)Twitter用ですか?」と「撮影はえ」するように並べてくれました。準備中の展示会場では陶芸部もTwitterへ協力してくれましたし、(写真①) 手話部では顧問の先生も張り切って会場設営をしています。参加団体を支える実行委員会も装飾準備や最終確認に忙しくしていました。(写真②)

学園祭当日は、演劇部 引き込まれる演技で涙が出ました。(写真③)

体操部 空中で回転しています。(写真④)

コーラス部 流りりの歌も美しく歌い上げていました。(写真⑤)

校庭では…可憐に踊るフォークダンス部(写真⑥)

理科部ロケット班によるデモ打ち上げ。久しぶりのにぎやかな学園祭でした。



①陶芸部作品



②実行委員会



⑦吹奏楽部フルート



⑥フォークダンス部



⑤コーラス部



④体操部



③演劇部



このページの内容についてのお問い合わせは、校友会事務局（03-3451-7700）まで。

# 校友会だより

## ◆2023年度の行事予定

### ・校友会総会

日時 6月3日(土) 11時

会場 新渡戸稲造ホール

開催方法は検討中です

### ・バザー

日時 11月11日(土)

### ・校友会クリスマス礼拝

日時 12月2日(土)

会場 A音楽室

右記の行事は、新型コロナウイルス感染状況によっては変更となります。詳細はホームページ又は左下のQRコードでご確認ください。

### ◆校友会事務局よりお願い

本年度のお支払いがまだの方は郵便局で左記の口座にお振込ください。

口座記号 001108

口座番号 87932(右詰)

加入者名

普通連土学園校友会

金額 2500円

通信欄に必ず回

生・お名前・ご住

所をお書きくださ

い。

## ◆普通連土生 世界一に!

既に多くのマスコミにも取り上げられご存じの方も多いと思いますが、普通連土生の活躍をお知らせします。

昨夏に英国で開催された「インターナショナル・ロケットラリー・チャレンジ(IRC)」で普通連土学園の理科部ロケット班が初優勝しました。米英仏日4カ国代表の中学高校生チームがロケットの打ち上げ技術を競う国際大会。日本勢として初めての優勝に加え、女子だけのチームの優勝も大会初という二重の快挙でした。

この大会では打ち上げ前に審査員への英語で行うプレゼンテーションがあり、評価の4割となりますが、その審査は米国に次いで2位。打ち上げの評価が1位。総合成績で見事逆転優勝でした。

理科部ロケット班は「ロケット甲子園」で2018・2019・2021年と3連覇。IRCの初出場は2019年で3位。

今後も普通連土生の活躍が楽しみです。

## 128回生 成人を祝う会

1月9日に品川プリンスホテルにて、128回生の新成人を祝う同窓会が開催されました。当日は片山先生、永山先生、若林先生にもお越しいただきました。参加者は123名で、若林先生による



とこれほどの大人数が集まるのは珍しいそうです。立食形式で食事やビンゴ大会を楽しみつつ友人たちと思い出話に花を咲かせました。卒業以来128回生が一堂に会する初めての場だったのですが、普通連土生だった頃に戻ったような楽しい会となりました。(富山里実)

## 訃報

謹んでお知らせ申し上げます。心より哀悼の意を表します。

47	鷺見 牧子(小出)	22	9	26
48	日暮 富美(大長)	21	1	1
48	浅見 福子(北沢)	22	6	8
48	保坂 妙子(上田)	22	8	30
50	上高 保子(森)	22	4	5
51	坂本 節子	22	9	25
52	A久米和喜子(浅沼)	22	5	15
52	A近藤智恵子(中野)	22	9	25
52	A渡辺美智子(大竹)	22	10	17
52	B岩沢千恵子	22	8	25
53	木下 敦恵(竜野)	22	8	29
55	高橋 欣子	22	7	19
63	増淵 綾子(佐久間)	22	10	31
64	多田 靖子(皆川)	22	10	2
74	河野 朱美(杉本)	22	9	2
75	加藤 裕子(加藤)	22	2	15
87	中村 啓世(鯨井)	22	9	3

### 【お詫びと訂正】

107号(22年7月31日発行)の計報欄におきまして、誤りがありましたのでここに訂正し、深くお詫び申し上げます。  
 誤「旧職 谷田貝常夫 21・2・21」  
 正「旧職 谷田貝常夫 22・2・21」



### 編集後記

本年も、皆様に喜んでいただけた会報作りを頑張ります!(入江・森本・富山・渡邊・白井・川上)

スマートフォンやタブレット端末からQRコードを読み取り校友会ホームページにアクセスします

